

伊倉小学校
学校だより

笑顔満開 伊倉つ子

R7.1.31
第11号
文責
坂本一博

児童質問紙調査も行われました。これは生活や学習の様子などについて質問したもので、この中では、本校の子供が頑張っている点と、もう少し努力が必要な点が明らかになりました。【表参考照】

これから進める学習のまとめとともに、学習に向かう姿勢などについても、頑張っている点は更に伸びるよう、努力が不足している点は改善するように年度末に向けて取り組んでいきます。

明日から一月になり、暦の上では「立春」を迎えます。学校では、この時期から三月にかけて現学年で学習内容が確実に子供たちに定着するよう、学習内容のまとめをします。現学年の学習の中身をきちんと身に付けるために繰り返し、繰り返し学び直す時です。昨年十二月には全学年で、熊本県や玉名市の学力・学習状況調査を実施しました。先日、その調査結果が学校に届きました。各学年の結果をもとに、今後の対策を立て、取り組むこととしています。

また、今回の調査では、学力調査とともに

質問項目	本校	県	比較
1ヶ月に5冊以上本を読む児童の割合	46.3	36.5	+
平日のTV・ゲーム・動画視聴が30分以下の児童の割合	20.7	15.7	+
学校の授業以外で、ほぼ毎日学習する児童の割合	28.1	39.8	▲

【質問紙調査 3年生以上 単位：%】

一月二十四日から三十日までは全国学校給食週間でした。本校では少し早く週間を設定し、給食委員会が中心となつて取組を行つてくれました。好きな物だけ食べる偏った栄養摂取や適切な量の食事がとれないことなど子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化する中、学校給食は子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。一月二十三日の給食集会では給食センターの森先生からお話をいただきました。



【給食集会の様子】

一月末は全国学校給食週間でした

標題のアンケートはすべての児童生徒が安心して楽しく過ごせる学校づくりに取り組むために県教育委員会が県下で行っているものです。本校も昨年十二月に実施しました。本年度の県全体の集計は出ていませんが、昨年度の県全体の集計結果を上回る項目も複数ありました。しかしながら七%とはい、「学校が楽しくない・あまり楽しくない」と回答した子供がいること、学校生活の中でいじめられたと感じた子供がいたことなどから、今後も教育相談を大切にしながら、いじめ等の早期発見・対応に努め、更に安心して過ごせる学校になるよう取り組んで参ります。

「心のアンケート」結果から

<アンケート結果の一部抜粋>			
※【】内は昨年度の県小学校平均値			
Q 学校は楽しいですか。	「楽しい」 + 「まあ楽しい」	92.9%	【91.6%】
Q 誰かの役に立っていると感じることありますか。			
「ある」 + 「少しある」	81.1%	【74.5%】	
Q 自信があることや自慢できることはありますか。			
「ある」 + 「少しある」	92.1%	【82.7%】	

いのち(命)やさずな(絆)の大切さ

一月十七日は今から三十年前、阪神・淡路大震災が起つた日で、そのときの教訓を後生に伝えようと、様々な活動が行われている様子が報道されました。

この地震後も、私たちは東日本大震災や熊本地震、能登半島地震などで地震の恐ろしさを実感するとともに、「命の大切さ」や「人のつながり(絆)の大切さ」などを学びました。これらのことからも大切にしていくにしながら、いじめ等の早期発見・対応に努め、更に成長してくれるることを願っています。